

2023 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	河本 信雄
研究テーマ	幕末佐賀藩のアームストロング砲模造の実態解明および田中久重に関する研究深耕
研究概要	<p>(1) 一般には幕末期に佐賀藩がアームストロング砲を模造したとされているが、史学的見地では実否が明らかでない。また、当時の製法も不明である。これらに関して、海外のものを含めた史料文献を調査研究して実態を明らかにする。</p> <p>(2) 申請者が長年研究してきた、田中久重（江戸後期から明治初期にかけての職人、技術書、起業家）の研究を深耕する。</p>

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>(1) の研究に関しては、2022 年度までに研究成果を「幕末佐賀藩におけるいわゆるアームストロング砲の製造をめぐる 田中久重・石黒直寛関連史料・文献、海外文献よりのアプローチ」(1)~(4)にてまとめ発表した（掲載誌『福岡地方史研究』）。既発表分は全体の論文の中で、序章「アームストロング砲伝説」、第 1 章「問題の所在」第 1 節「鉄に関する用語」・第 2 節「アームストロング砲」前半部、に相当する。2023 年度は同論(5)（第 2 節後半部 — 4 項「海外百科事典における疑問」・5 項「アームストロング砲の材質」・6 項「まとめにかえて」—）を執筆し投稿した。</p> <p>(2) の研究に関しては、田中久重の幼名に関することを詳らかにする論文「田中久重の幼名」を作成し、『技術史教育学会誌』に投稿した。採用の旨の連絡が来ており、2024 年 4 月に発行の同誌に掲載される予定である。また、田中久重と坂本龍馬が長崎でニアミスしていたことを史料から読み解いた、研究発表「田中久重と坂本龍馬のニアミス」（前編・後編）を作成し発表した（掲載誌『会報 郷土久留米』）。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>〔論文等〕</p> <p>単「機械時計初伝来の時期に関する考察 — ザビエルから大内義隆への贈物 —」（研究ノート）『技術と文明』別号（電子版）2023 年 24 巻 e 号、pp. 1~14、日本産業技術史学会（2023 年 8 月、査読有）。</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>2024 年度科学研究費 基盤研究(C)（一般）：「幕末佐賀藩における、いわゆるアームストロング砲（成層式施条後装砲）模造の実態解明」（採択期間：令和 6~10 年度）。</p>
4. 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍や自身のケガ（左膝前十字靭帯損傷）のため、ここ数年行っていなかった発表の実施。 ・(1) に関しては、模造の解明につながる第 2、3 章を調査研究の上、論文執筆。 ・(2) に関しては、田中久重の名前に関する研究の深耕、論文執筆。